

課題名：National Clinical Database (NCD)データを用いた原発性肺悪性腫瘍に対する解剖学的肺切除における術中肺動脈出血の実態調査と周術期アウトカムに及ぼす影響に関する検討

研究の目的：NCD データを用いて臨床 I-III 期原発性肺癌に対する区域切除以上の解剖学的肺切除術における術中肺動脈出血を来した症例の実態を調査し、その周術期アウトカムへの影響を明らかにすることを目的とする。また、肺動脈損傷例の術前予測因子について探索する。

研究対象者：2017 年から 2020 年に原発性肺悪性腫瘍手術を受けられ NCD に登録された方（NCD の登録年は手術翌年になりますので 2018 年から 2021 年に NCD 登録された方）

研究の方法：NCD に登録されたデータを用いる後ろ向き研究である。調査項目は、年齢（中央値、範囲）、性別、PS、BMI、cT 因子、臨床病変径、臨床浸潤径、cN 因子、臨床病期、術前併存症、喫煙指数、術前治療有無、手術アプローチ（開胸、直視併用胸腔鏡、胸腔鏡下）、周術期アウトカム（30 日以内死亡、30 日以内死亡＋在院死、術後入院日数、再手術、重症合併症）等である。調査対象期間は、2018-2021 年とする。3 段階の調査コホートを設定し、コホートごとに出血量と各周術期アウトカムの因果分析（ロジスティック回帰分析）、出血量と因果ありの周術期アウトカムについて ROC 解析でカットオフ値算出、肺動脈損傷あり群となし群における周術期アウトカム比較、肺動脈損傷例の術前予測因子解析等を行う。

研究機関：

研究責任医師：市村秀夫

研究事務局：筑波大学 呼吸器外科

データの収集方法：NCD に登録されたデータから上記方法に準じて抽出する。NCD データは、全国の参加施設ごとに倫理審査や実施許可の申請が行われている。また、すべてのデータが匿名化されたデータである。

研究機関：倫理審査承認後-2025 年 12 月 31 日まで

本研究に関する問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学 医学医療系 呼吸器外科

〒305-8575 つくば市天王台 1-1-1

電話：029-853-7911（月火木金：10 時～17 時）

担当：市村 秀夫（いちむら ひでお）

診療・手術中で電話対応できない場合がございます。その際には、お名前とお電話番号をお伝えください。折り返しご連絡させていただきます

以上